

## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム  
 コード番号 3096 URL <http://www.ocean-system.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 勤  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 古川原 英彦

TEL 0256-33-3987

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	11,016	5.3	229	△8.7	249	△5.7	138	△2.8
25年3月期第1四半期	10,459	3.9	250	△25.0	264	△26.4	142	△31.8

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 112百万円 (△1.9%) 25年3月期第1四半期 114百万円 (△41.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	14.07	—
25年3月期第1四半期	14.48	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	15,033	4,995	33.2	507.44
25年3月期	15,174	4,937	32.5	501.56

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 4,995百万円 25年3月期 4,937百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	5.50	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,300	7.1	400	15.8	430	16.5	220	17.6	22.35
通期	45,000	6.2	1,000	36.3	1,050	35.2	550	181.2	55.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	10,833,000 株	25年3月期	10,833,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	989,037 株	25年3月期	988,995 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	9,843,996 株	25年3月期1Q	9,844,086 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策や金融緩和政策を背景に景気回復への期待感が高まりつつあるものの、海外景気の減速懸念もあり、先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、個人消費に持ち直しの動きは見られる一方で節約志向は依然として強く、また、円安などによる原材料価格の上昇もあり厳しい環境が続きました。

このような状況の下、当社グループは当第1四半期連結会計期間より新たな組織体制でスタートし、お客様の低価格志向に応えるべく競争力のある収益構造の構築を目指し、更なる企業価値の向上に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は110億16百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は2億29百万円（前年同期比8.7%減）、経常利益は2億49百万円（前年同期比5.7%減）、四半期純利益は1億38百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較の数値につきましては、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

変更の詳細は、9ページの「2 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照下さい。

#### (スーパーマーケット事業)

「チャレンジャー」部門につきましては、既存店舗の構成を見直した結果、老朽化が進んでいた「プライスリーダー袋津店」（新潟市江南区）と「チャレンジャー大形店」（新潟市東区）を閉店いたしました。同時期に「チャレンジャー海老ヶ瀬店」（新潟市東区）を新規出店し、当該地域のお客様の利便性を損なわないように努めてまいりました。

また、お客様に「安全・安心」を感じて頂けるように、生鮮食品の「鮮度」に重点を置き、産地直送ルートの開拓に取り組み、商品力を向上させてまいりました。

「業務スーパー」部門につきましては、当第1四半期連結累計期間における新規出店はなかったものの、青果や精肉等の生鮮食品を積極的に導入することにより、品揃えの拡充を図り、新たなお客様の獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は77億40百万円（前年同期比6.0%増）、新店舗における出店費用によりセグメント利益は1億72百万円（前年同期比13.5%減）となりました。

#### (弁当給食事業)

「フレッシュランチ39」（事業所向け宅配弁当）につきましては、ボリューム感のある商品を企画する一方、健康志向のお客様向けの低カロリーの商品の開発に努めてまいりましたが、市場全体の喫食者数が伸び悩んでいるなか、昼食スタイルの選択肢が拡大しており、厳しい状況で推移いたしました。

当第1四半期連結累計期間における1日当たりの平均販売食数は「フレッシュランチ39」73,300食（前連結会計年度末比0.5%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は16億15百万円（前年同期比0.2%増）、原材料価格の上昇及び製造における労務費の増加によりセグメント利益は94百万円（前年同期比15.0%減）となりました。

#### (食材宅配事業)

食材宅配事業につきましては、人気メニューを集めた特別販売企画や新規顧客獲得に向けたキャンペーンを行いました。インターネットによる食材宅配サービスとの競合などから、既存の顧客数が減少し、売上高は低調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は12億32百万円（前年同期比3.1%減）、販売管理コストの抑制や業務の効率化に努めたものの、売上高の減少幅が大きかったことによりセグメント利益は83百万円（前年同期比9.3%減）となりました。

(惣菜製造事業)

惣菜製造事業の「惣菜受託製造」部門につきましては、委託先からのアイテム数が増加したことや、製造した商品がメディアに取り上げられたことにより売上高は順調に推移いたしました。なお、惣菜の受託製造業務は前第2四半期連結会計期間より開始しております。

「こしひかり弁当」(首都圏オフィス向け店頭販売弁当)部門につきましては、代理店の新規契約獲得に向け、営業を強化してまいりましたが、喫食者の昼食スタイルの多様化は依然として続いており、販売食数は厳しい状況で推移いたしました。

以上の結果、売上高は2億92百万円(前年同期比101.2%増)、セグメント損失は0百万円(前年同期はセグメント損失40百万円)となりました。

(旅館、その他事業)

旅館、その他事業につきましては、旅館「海風亭寺泊 日本海」は個人消費の持ち直しの動きに伴い、宿泊単価は前年同期に比べ増加いたしました。日帰りの来客数は減少いたしました。

また、当第1四半期連結会計期間より営業を開始いたしました外食店舗(居酒屋「廻船問屋 日本海」)の売上は好調に推移しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1億34百万円(前年同期比7.3%増)、旅館部門における外壁の修繕費、外食店舗の新規出店に伴う費用の発生などにより、セグメント損失は30百万円(前年同期はセグメント損失30百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億41百万円減少し、150億33百万円となりました。負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億99百万円減少し、100億37百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ57百万円増加し、49億95百万円となりました。この結果、自己資本比率は0.7ポイント上昇し、33.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、前回発表(平成25年5月14日)の業績予想に概ね沿う形で推移しており、今後も業績に大きな影響を与える可能性のある要因がないと考えられるため、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,383,425	990,663
売掛金	1,042,491	985,853
商品	1,147,136	1,233,781
原材料	137,317	114,991
その他	531,696	584,648
貸倒引当金	△9,134	△9,158
流動資産合計	4,232,932	3,900,779
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,681,050	5,051,040
土地	3,072,264	3,071,214
その他(純額)	747,691	647,573
有形固定資産合計	8,501,006	8,769,828
無形固定資産		
のれん	4,421	3,494
その他	335,442	325,043
無形固定資産合計	339,863	328,537
投資その他の資産		
その他	2,121,887	2,055,988
貸倒引当金	△21,421	△22,068
投資その他の資産合計	2,100,466	2,033,920
固定資産合計	10,941,336	11,132,286
資産合計	15,174,269	15,033,065
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,413,478	2,443,552
短期借入金	1,228,985	1,108,448
未払法人税等	155,200	31,193
賞与引当金	190,375	81,640
その他	1,334,590	1,609,730
流動負債合計	5,322,628	5,274,563
固定負債		
社債	800,000	800,000
長期借入金	2,570,820	2,356,361
リース債務	226,747	253,078
役員退職慰労引当金	346,418	339,517
退職給付引当金	19,006	19,467
資産除去債務	424,548	473,991
その他	526,716	520,836
固定負債合計	4,914,257	4,763,251
負債合計	10,236,886	10,037,814

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	4,529,305	4,613,680
自己株式	△751,551	△751,582
株主資本合計	4,946,245	5,030,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,862	△35,339
その他の包括利益累計額合計	△8,862	△35,339
純資産合計	4,937,382	4,995,250
負債純資産合計	15,174,269	15,033,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	10,459,308	11,016,148
売上原価	7,812,058	8,261,332
売上総利益	2,647,249	2,754,816
販売費及び一般管理費	2,396,279	2,525,785
営業利益	250,970	229,030
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	7,902	5,502
その他	17,614	28,648
営業外収益合計	25,523	34,159
営業外費用		
支払利息	11,564	11,757
その他	844	2,379
営業外費用合計	12,409	14,136
経常利益	264,085	249,053
特別利益		
固定資産売却益	—	19
特別利益合計	—	19
特別損失		
固定資産売却損	355	—
固定資産除却損	326	470
賃貸借契約解約損	798	5,829
店舗閉鎖損失引当金繰入額	25,262	—
その他	66	513
特別損失合計	26,809	6,813
税金等調整前四半期純利益	237,275	242,259
法人税、住民税及び事業税	48,481	25,937
法人税等調整額	46,282	77,804
法人税等合計	94,763	103,742
少数株主損益調整前四半期純利益	142,511	138,517
少数株主利益	—	—
四半期純利益	142,511	138,517



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	142,511	138,517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,303	△26,476
その他の包括利益合計	△28,303	△26,476
四半期包括利益	114,208	112,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	114,208	112,040
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	惣菜製造 事業	旅館、その 他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	7,303,367	1,612,849	1,272,035	145,448	125,607	10,459,308	—	10,459,308
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,172	32,339	—	—	806	34,318	△34,318	—
計	7,304,540	1,645,188	1,272,035	145,448	126,413	10,493,626	△34,318	10,459,308
セグメント利益 又は損失(△)	199,523	111,554	92,443	△40,786	△30,887	331,846	△80,875	250,970

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△80,875千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△87,265千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	スーパー マーケット 事業	弁当給食 事業	食材宅配 事業	惣菜製造 事業	旅館、その 他事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	7,740,295	1,615,868	1,232,623	292,636	134,724	11,016,148	—	11,016,148
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	996	38,335	—	—	6,652	45,983	△45,983	—
計	7,741,292	1,654,203	1,232,623	292,636	141,376	11,062,132	△45,983	11,016,148
セグメント利益 又は損失(△)	172,652	94,797	83,821	△831	△30,882	319,558	△90,527	229,030

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△90,527千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△95,627千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用であり、その主なものは管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループでは、当第1四半期連結会計期間より、従来「弁当給食事業」に含んでおりました惣菜受託製造の業務を「惣菜製造事業」として新設し、「弁当給食事業」の一部工場で行っておりましたケータリングの業務を「旅館、その他事業」へ報告セグメントを変更しております。

これは、戦略的かつ機動的な配置による業務推進力の強化、事業運営の効率化・迅速化を図り、更なる業容・事業拡大を目指すことを目的とした組織変更を行い、当社グループの経営資源の配分の決定及び業績を評価するための区分を変更し、それに伴い報告セグメントの区分を変更したためであります。

あわせて、「小売事業」、「宅配事業」、「旅館、その他外食事業」を事業内容をより正確に表示するために、それぞれ「スーパーマーケット事業」、「食材宅配事業」「旅館、その他事業」と報告セグメントの名称を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。